



ミネベア株式会社決算説明会

2004年3月期第3四半期決算

2004(平成16)年 2月6日

代表取締役社長執行役員 山本 次男

2004年3月期第3四半期連結業績

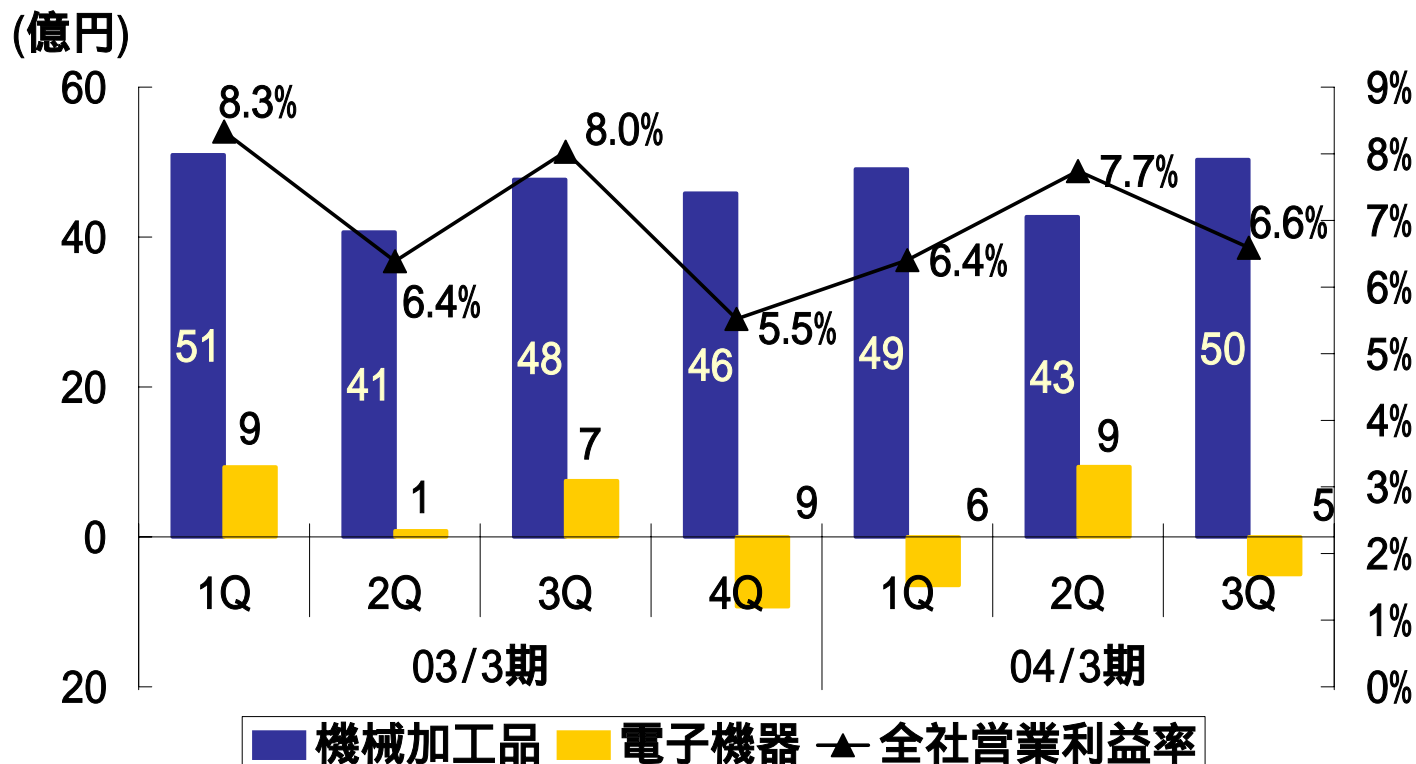
(百万円)	2003/3期	--- 2004/3期 ---		3Q 伸び率	
	3Q	2Q	3Q	前年同期比	前四半期比
売上高	68,723	67,252	68,728	+0.0%	+2.2%
営業利益	5,519	5,208	4,531	-17.9%	-13.0%
経常利益	4,036	4,273	3,707	-8.2%	-13.2%
税引前利益	3,735	4,122	3,590	-3.9%	-12.9%
純利益	1,889	2,305	1,622	-14.1%	-29.6%

第3四半期セグメント別収益

機械加工品セグメントは増益

(百万円)	----- 2003/3期 -----				--- 2004/3期 ---			3Q 伸び率	
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	前年同期比	前四半期比
(売上高)									
機械加工品	31,668	28,641	28,723	29,085	28,606	27,059	27,434	-4.5%	+1.4%
ベアリング関連製品	26,420	23,638	23,845	24,035	23,959	23,169	23,324	-2.2%	+0.7%
その他機械加工品	5,249	5,002	4,879	5,050	4,646	3,892	4,109	-15.8%	+5.6%
電子機器	40,699	36,241	40,000	37,144	37,883	40,193	41,294	+3.2%	+2.7%
回転機器	20,793	18,140	20,521	19,734	21,458	22,184	22,209	+8.2%	+0.1%
その他電子機器	19,908	18,097	19,480	17,412	16,424	18,011	19,084	-2.0%	+6.0%
合計	72,367	64,882	68,723	66,230	66,489	67,252	68,728	+0.0%	+2.2%
(営業利益)									
機械加工品	5,098	4,065	4,771	4,585	4,908	4,270	5,035	+5.5%	+17.9%
電子機器	933	80	748	929	648	937	503	-	-
合計	6,031	4,145	5,519	3,657	4,259	5,208	4,531	-17.9%	-13.0%

セグメント別営業利益推移



セグメント別営業利益率

	03/3期				04/3期		
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q
機械加工品	16.1%	14.2%	16.6%	15.8%	17.2%	15.8%	18.4%
電子機器	2.3%	0.2%	1.9%	-2.5%	-1.7%	2.3%	-1.2%

(機械加工品セグメント営業利益率:外部売上ベース)

第3四半期の実績について

- 主要製品で過去最高の生産・販売数量を更新した。
ボールベアリング、ピボットアッセンブリー、スピンドルモーター 等
- 継続的な単価引き下げ圧力と為替変動の影響があった。



ボールベアリングの拡販及び生産効率改善を中心とした施策の成果により、機械加工品では利益率を大幅に改善、利益も拡大。
電子機器の収益性が悪化、全社業績の低下の要因となった。

計画との差異が大きい部門:

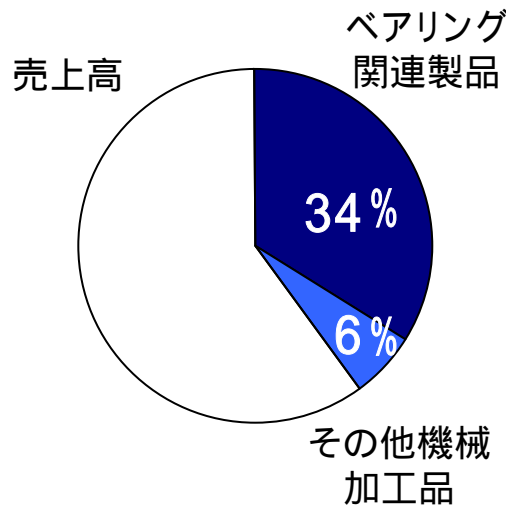
スピンドルモーター

キーボード

第3四半期販売の状況

ピボットアッセンブリー、
スピンドルモーター、
ライティングデバイス、
キーボードが増収

機械加工品セグメント



ベアリング関連製品

ボールベアリング: 売上高(売上比率 23%) 前四半期(2Q)比 -2%、
数量では2Q比10%増、エアコンやファン向けが好調。

ロッドエンド・スフェリカルベアリング: (4%) +0%、横ばい。

ピボットアッセンブリー: (7%) +10%、HDDの好調とシェア拡大の成果。

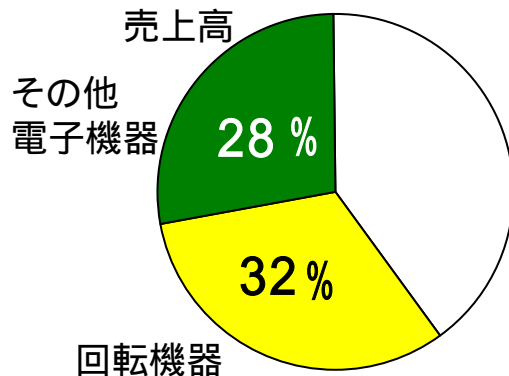
回転機器

スピンドルモーター: (17%) +5%、3.5インチHDD向けに販売拡大。

ファンモーター: (9%) -6%、ゲーム機用の需要軟調とPC関連向けの
伸び悩み。

ステッピングモーター: (7%) -2%、数量拡大だがODD向けが増加。

電子機器セグメント



その他電子機器

キーボード: (11%) +25%、販売が回復。

エレクトロデバイス: (7%) +6%、ライティングデバイスの販売を拡大。

パワーエレクトロニクス: (4%) -9%、電源事業終了過程に伴う減収。

スピーカー: (4%) -15%、季節要因。

第3四半期 用途別売上高・海外地域別売上高

PC及びOA向けの売上が拡大
家電のうちベアリングとファンモーターは好調

用途別売上高

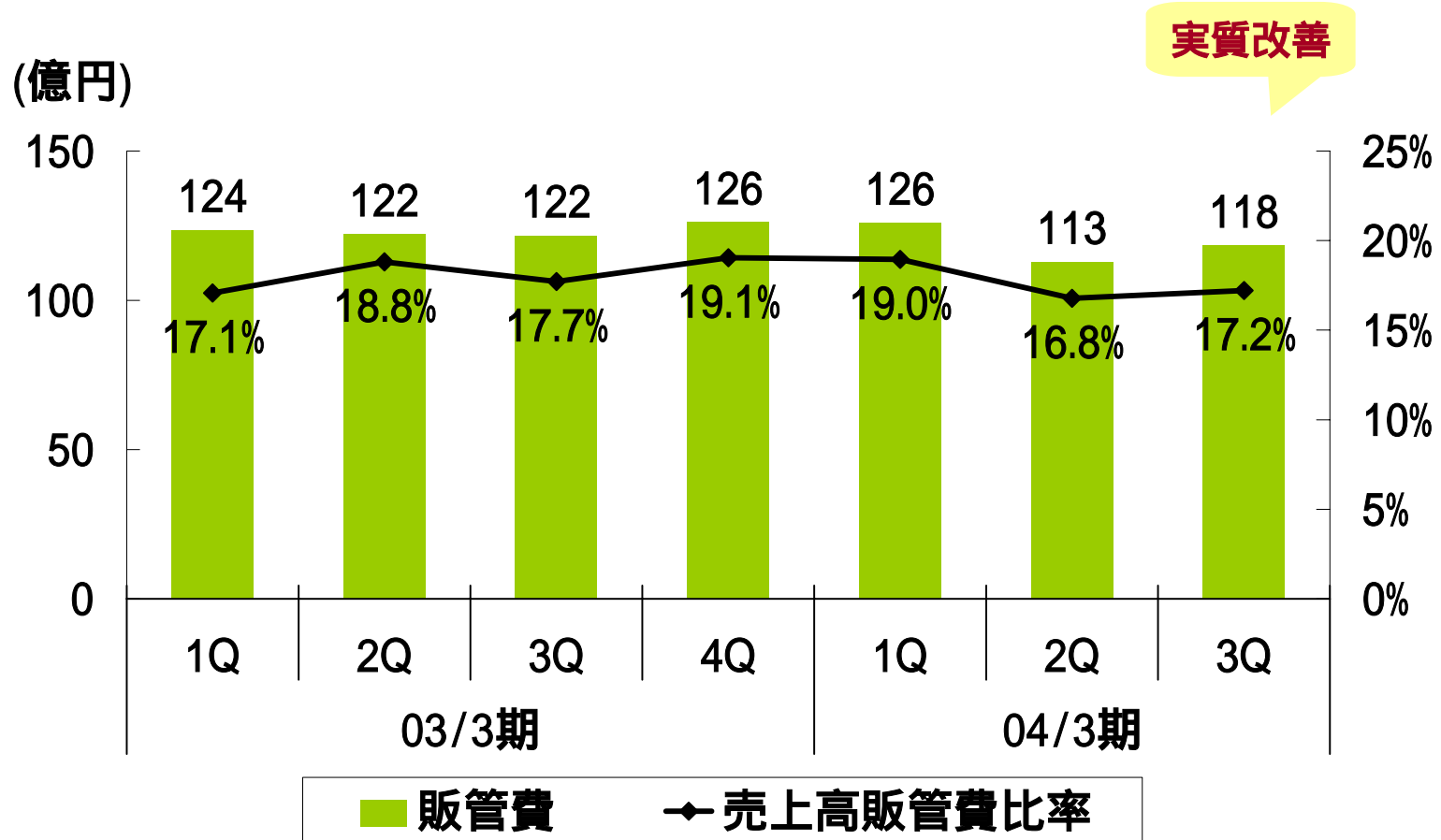
	自動車	航空・宇宙	家電機器	情報通信 機器(OA)	PC及び 周辺機器	モータ	その他	合計
売上高比率	7.6%	8.6%	8.3%	11.4%	47.5%	5.2%	11.5%	100.0%
前四半期比 伸び率 (2Q比)	+1.3%	+1.6%	-13.5%	+9.2%	+6.1%	-4.7%	-1.9%	+2.2%
前年同期比 伸び率 (昨年度3Q比)	+9.2%	-6.2%	-10.2%	+26.5%	-0.1%	-6.2%	-8.9%	+0.0%

地域別売上高

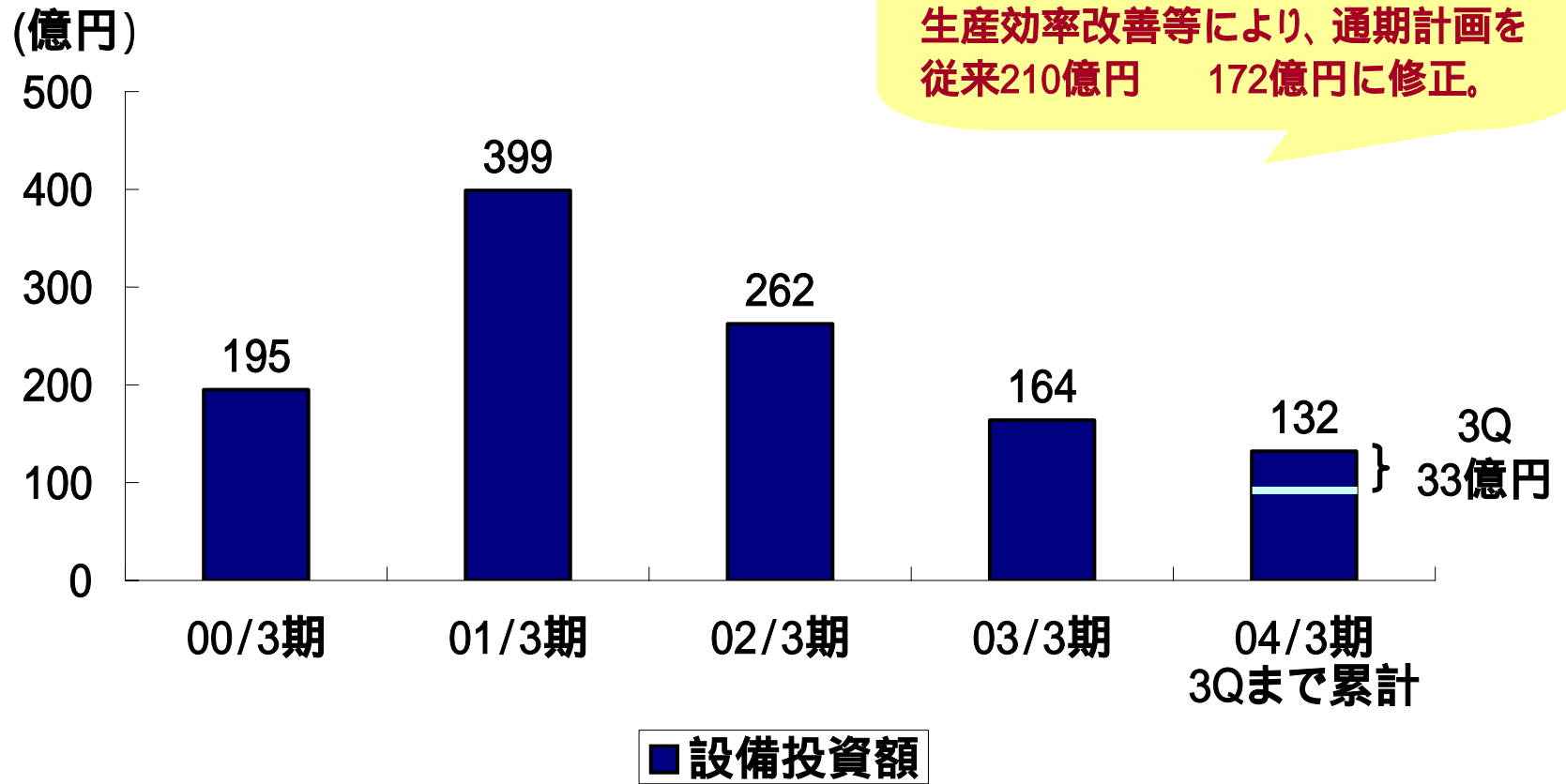
	日本	アジア (除 日本)	北米	欧州	合計
売上高比率	25.7%	45.6%	17.2%	11.5%	100.0%
前四半期比 伸び率 (2Q比)	+7.6%	-0.9%	+3.5%	+1.4%	+2.2%
前年同期比 伸び率 (昨年度3Q比)	-1.2%	+11.8%	-17.3%	-7.3%	+0.0%

為替の影響を除くと、
アジア地域の売上高は
2Q比6%増、前年比22%増
中華圏での伸びが牽引

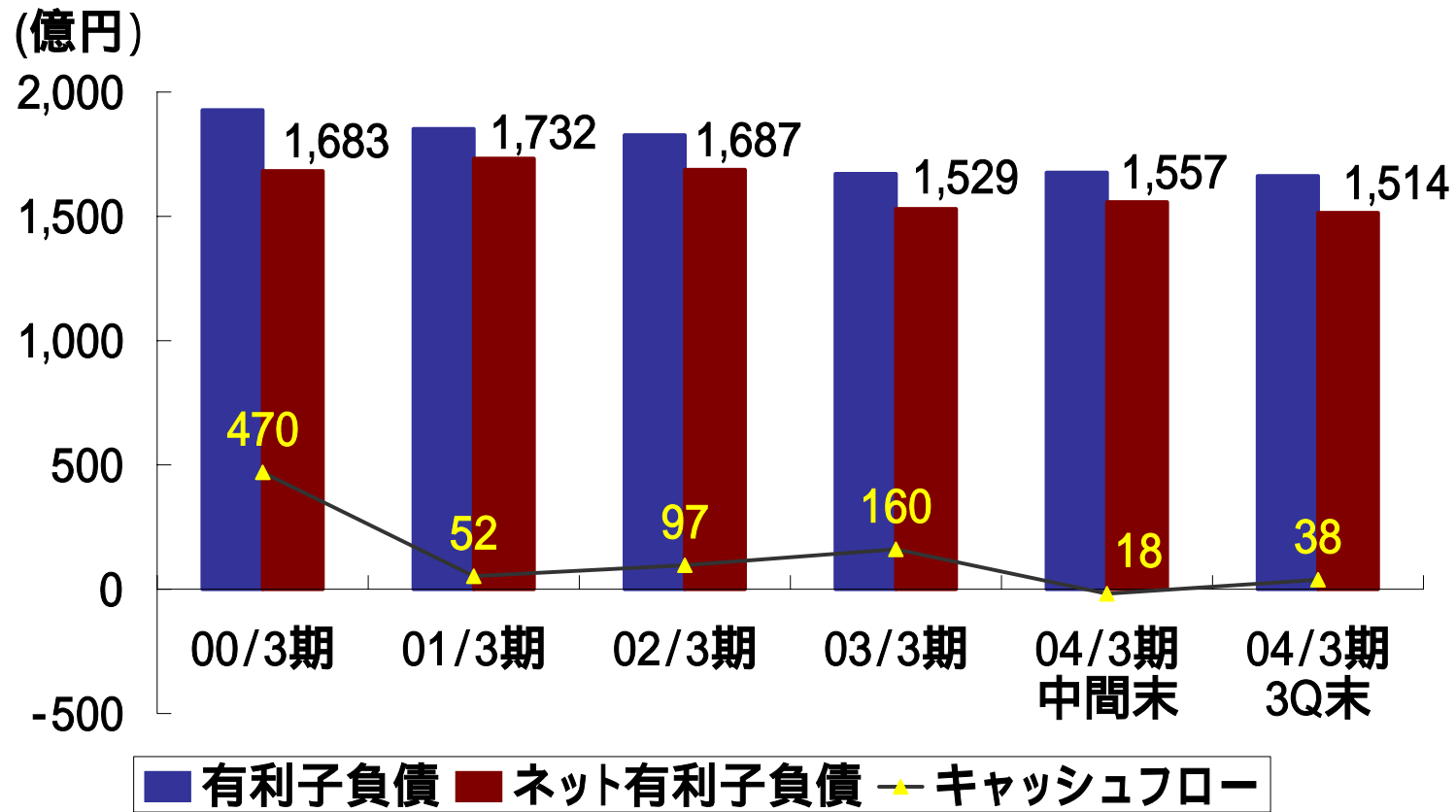
販管費推移



設備投資額推移



有利子負債推移



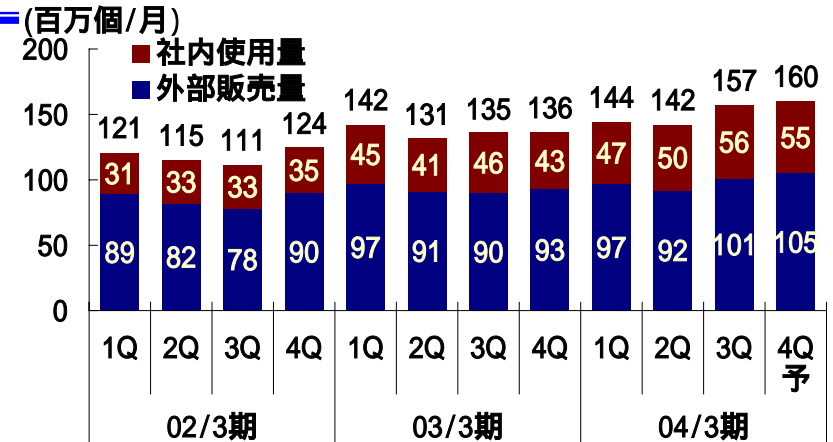
ボールベアリング事業

- ミニチュア・小径ボールベアリング事業の拡大・強化施策は順調に進展。
- 外販数量が安定的に月1億個台に。社内使用合わせた販売数量は半年で10%以上の上乘せ。
- 社内使用の増加はピボットアッセンブリーの販売拡大の成果。
- 単価下落を上回るコストダウンにより利益率を維持拡大。

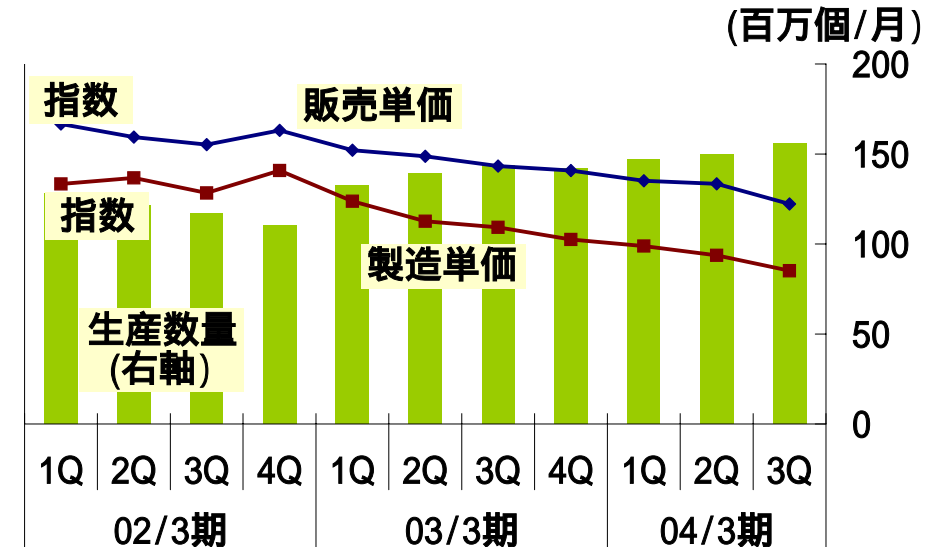
上海ベアリング展



ミニチュア・小径ボールベアリング販売数量推移



ミニチュア・小径ボールベアリング販売・製造単価推移



HDDスピンドルモーター事業

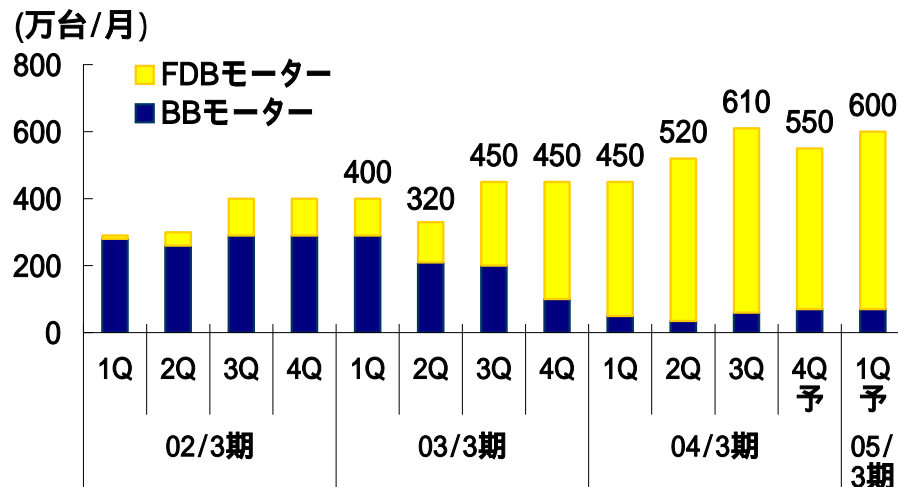
- 3.5インチデスクトップHDDの需要は家電向けへ拡大。4Qの平均月産550万台は一時的な需要調整の影響。
- 1.8インチHDD向けBBモーターが増加。
- 採算性改善に引き続き注力。
- 2.5インチFDBモーターの開発は進行中。



PMDM(小型モーター開発拠点(独))増設

- ◇ 3,000㎡の新社屋建設により、建屋面積を1.3倍に拡大予定。投資額は約10億円を予定。
- ◇ 新規モデルの開発に対応し、FDBモーター新製品の開発体制の強化を図る - 性能検査・耐久性試験エリアの確保。

HDDスピンドルモーター販売数量推移



松下電器産業株式会社とのモータ事業統合

ミネベアグループにおけるシナジー効果

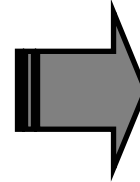
2004年4月発足予定

ミネベア・松下モータ株式会社

両社の生産力と技術力を結集した
世界No.1のモータ会社へ

ファンモータ (ベアリング・スリーブ)
ステッピングモータ (ハイブリッド・PM)
振動モータ
ブラシ付DCモータ

スケールメリットの活用
製品ラインアップの充実
製造プロセスや設計手法の標準化
マグネット・材料・高度解析技術の開発 等



松下グループへの拡販体制強化

家電向けモータ市場への本格的参入

白物家電向けモータラインアップ構築
家電及びAV向け事業の強化
デジタル家電向け事業の一層の強化

購買・物流におけるシナジー効果

プレゼンス増大によるメリット追求

事業統合推進委員会を設置、準備を予定どおり推進中。生産設備の移管を一部開始。

HDD用FDBモータの部品供給拡大

HDD用FDBモータのベースプレート、ハブ等の供給を継続。ほぼ全サイズ向けに供給中。

電子機器セグメントその他の主要事業

キーボード事業

- SSTの立ち上げは順調に進展しているため、タイからの移管を半年前倒しで実施。2005年3月までに完了予定。
- 移管作業に伴う固定費負担増により収益性が一時的に低下。

キーボード生産スケジュール



ライティングデバイス事業

- 一時的な調整はあるが売上・受注は順調に拡大。新製品開発を強力に進め、今春モデルの携帯電話搭載用として、多数の新規受注獲得に成功。

継続的な技術対応

- ◇ 高輝度化、高精細化
- ◇ 薄型化
- ◇ 一枚導光板両面照射
- ◇ 1灯LEDコーナー照射
- ◇ 大型液晶対応(動画対応)

今期重点施策(2003年5月発表)の進捗状況

施策6項目

1. ボールベアリング事業の拡大及び強化
2. HDDスピンドルモーターの黒字化
3. ピボットアッセンブリーの採算性改善
4. その他の電子機器製品事業の収益性回復
5. ファンモーター事業の一層の拡大
6. 電源及び関連事業の終了

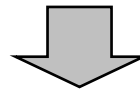
第4四半期の見通し

1月以降の需要環境

- 景況感は引き続き改善傾向にあるが、円高の影響が懸念される。
- PC関連と3.5インチデスクトップHDD向けは2月まで調整の見込み。家電やデジタル家電の需要は伸長。

機械加工品 ボールベアリングを中心に収益性の一層の引き上げ
電子機器 新規需要の取り込みとコスト低減を図る

業績見込み



(億円)	3Q 実績		4Q 修正予想	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益
機械加工品	274	50	284	55
電子機器	413	5	401	5
合計	687	45	685	50

通期 売上高 従来 2,750 修正 2,710 億円 営業利益 従来 210 修正 190 億円

2004年3月期通期業績予想

(百万円)	2003/3期	----- 2004/3期 -----		伸び率 前年比	従来予想 通期	
	通期	上期 実績	下期 予想			通期 予想
売上高	272,202	133,741	137,259	271,000	-0.4%	275,000
営業利益	19,352	9,467	9,533	19,000	-1.8%	21,000
経常利益	13,420	7,558	7,742	15,300	+14.0%	17,000
税引前利益	495	6,299	7,801	14,100	28倍	16,000
純利益	2,434	2,726	3,974	6,700	-	8,500

通期セグメント別収益見込み

(百万円)	2003/3期		2004/3期		伸び率 前年比	従来予想		通期 従来予想 比
	通期	上期実績	下期予想	通期予想		下期 予想	通期 予想	
〔売上高〕								
機械加工品	118,117	55,665	55,835	111,500	-5.6%	59,335	115,000	97.0%
ベアリング関連製品	97,938	47,128	47,622	94,750	-3.3%	50,272	97,400	97.3%
その他機械加工品	20,180	8,538	8,212	16,750	-17.0%	9,062	17,600	95.2%
電子機器	154,084	78,076	81,424	159,500	+3.5%	81,924	160,000	99.7%
回転機器	79,188	43,642	44,608	88,250	+11.4%	46,058	89,700	98.4%
その他電子機器	74,897	34,435	36,815	71,250	-4.9%	35,865	70,300	101.4%
合計	272,202	133,741	137,259	271,000	-0.4%	141,259	275,000	98.5%
〔営業利益〕								
機械加工品	18,519	9,178	10,522	19,700	+6.4%	10,322	19,500	101.0%
電子機器	832	289	989	700	-	1,211	1,500	-
合計	19,352	9,467	9,533	19,000	-1.8%	11,533	21,000	90.5%

ミネベア株式会社決算説明会

<http://www.minebea.co.jp/>

上記説明会で述べられた内容のうち歴史的事実でないものは、一定の前提の下に作成した将来の見通しであり、また、それらは現在入手可能な情報から得られた当社経営者の判断にもとづいております。

実際の業績は、さまざまな要素により、これら見通しとは大きく異なる結果となる場合があります。

実際の業績に影響を与える重要な要素としては、(1)当社を取り巻く経済情勢、需要動向等の変化、(2)為替レート、金利等の変動、(3)エレクトロニクスビジネス分野で顕著な急速な技術革新と継続的な新製品の導入の中で、タイムリーに設計・開発、製造・販売を続けていく能力、などです。但し、業績に影響を与える要素はこれらに限定されるものではありません。